

ご挨拶

デザインの扉を開いたその先に

一般財団法人日本特許情報機構 理事長 松井英生

Japio



日本人の見立ての力と美意識を次世代へ

皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、今般 2022 年7月1日を持って一般財団法人日本特許情報機構は、一般社団法人日本デザイン保護協会を吸収合併いたしました。

一般財団法人日本特許情報機構 (Japio) は、総合特許情報サービス機関として特許、商標関連の産業財産権の質の高い情報を的確かつ迅速に産業界等に提供することをもって我が国の経済社会の発展に貢献してまいりました。

Japio は、この度の吸収合併により日本デザイン保護協会事業を単に引き継ぐだけではなく、新しく生まれ変わった気持ちでデザイン関連事業をさらに拡大・発展させて、特許、商標、意匠の主要産業財産権制度に関する情報提供事業を融合させて総合的に実施することにより、新たな価値を創造して我が国の経済社会の発展に引き続き貢献していく所存であります。

意匠法は、ご案内のように、人間の五感の内7割以上を支配するといわれる視覚を通じて生じる美感の保護及び利用を図ることにより、デザインの創作を奨励し、もって産業の発達に寄

与することを目的とした法律であります。すなわちデザインは人々に美感を通じて心の豊かさを感じさせるのみならず、生活の中の利便性を高めたりするなど社会の様々な課題解決にも貢献することによって経済社会の発展に貢献して行くものであると考えます。

この視覚を通じて生じる美感は日本人の特有の感性によるものであると思っており、日本人が脈々と受け繋いで来たアイデンティティとも言えるものであり、我々が誇りとするものであると思います。この貴重な財産である見立ての力と美意識を次世代に引き継いでいくことが今の時代に生きる我々の使命であると思います。

このような意識の下、Japioとして、企業などの活発なデザイン創作活動、特許庁の意匠法に基づく審査業務の効率化の両面に貢献すべく、新たにデザイン部を創設してデザインの扉を開くことによって、その先に何があるのか常に模索しながら、従来からの業務である特許・商標に関する情報に加え意匠情報を含む産業財産権の総合的情報サービスの更なる向上に取り組んでまいりますので、今後とも皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますことを切にお願いする次第であります。